1. 個人データ

職名: 准教授 氏名: 春名 桂 学位: 教育学士 e-mail: haru02@kobe-kosen.ac.jp

2. 教育・研究テーマ

【バスケットボール・コーチング理論】

① モーション・オフェンス

バスケットボールは、ゴールが上空にあるという競技特性を持つ。必然的に、長身者が優位なスポーツであるが、短身者の多いチームにおいても、空間的位置取り(スペーシング)や時間的合致(タイミング)、複数で行うコンビネーションで高さを打開することが可能である。より効果的なオフェンスとして、パッシング・カッティング・スクリーンを組み合わせた「モーション・オフェンス」について、研究を行っている。

② プレッシャー・マンツーマン

バスケットボールは、確率のスポーツとも言われ、相手により確率の悪いショットをさせることが、 勝利の要因となる。ディフェンスの目的は、相手に良い(確率の高い)ショットをさせないことであ り、ボール保持者へのプレッシャーは、不可欠である。

球技におけるオフェンスの優位性は、その選択肢の多さにあり、ディフェンスは必然的に後手に回らざるを得ない。しかしながら、選択肢を限定化することによって、より誤差を少なくし、展開することができる。

そのために、カバーリングやロテーションを重視し、5人で守るディフェンスを研究している。

③ 小中高一環プログラムの研究

ミニバスケットボールを始めた選手が、高校バスケットボールを引退するまで 6・3・3 の 12 年の時間を有するが、カテゴリーのつなぎ目に、引退や受験でバスケットボールから遠ざかる時間が存在する。その継ぎ目の時間に着眼し、次のカテゴリーで、良いスタートが切れるように、プログラムを作成する。

また、各カテゴリーで習得しておきたい技能や理論について、系統化の研究を行っている。

④ バスケットボールの審判育成

教員の高齢化に伴い、大会時における審判不足が現実問題である。他のスポーツと比較して、専門 的知識と瞬時の動きに対応できる健脚が求められる為、若手(主として高校生)を育成することが急 務である。

専門的知識のみならず、メカニック、マニュアルの伝達方法について研究している。

3. その他のデータ

(1)教育・研究技術相談可能分野

- バスケットボール 技術指導
- ・ バスケットボール 審判法指導

.

(2) 出前講義・公開講座, 講演可能テーマ

- ・ バスケットボール 技術指導 (対象:小学生・中学生・高校生・一般)
- ・ バスケットボール 審判法指導 (初心者から公認を目指すレベル)

(3) キーワード

バスケットボール、コーチング